

平成 23 年 度
開星高等学校入学試験問題

(第 1 限 9 : 20 ~ 10 : 10)

国 語

注 意

- 1 「始め」の合図があるまでは、開いてはいけません。
- 2 問題は全部で 4 題あり、7 ページまでです。
- 3 「始め」の合図があったら、まず、解答用紙に受験番号を書きなさい。
- 4 答えは、すべて解答用紙に書きなさい。
- 5 「やめ」の合図で、すぐ鉛筆をおき、解答用紙を裏返しにして机の上におきなさい。

【第一問題】 次の文章を読んで、下のそれぞれの問いに答えなさい。
「スローウエア」「ファストウエア」

(注) (一)生 二 三宅一生。ファッションデザイナー。パリコレクションで一枚の布で身体を包む新しいスタイルを発表し、世界中に影響を与えた。
(弁髪) 男子の頭髪を一部を残して剃り落とし、残りを編んで長く後ろへ垂らしたアジア北方民族の髪型。
(彼我) 彼と我。自分と他人。ここでは欧米と東洋のこと。
[オーガニック・コットン] 化学肥料、農薬を控えて栽培したコットン。

問一 傍線部⑦⑧の漢字はその読みをひらがなで書き、カタカナは漢字で書きなさい。

問二 空欄Ⅰ・Ⅱに入る語を次のア～エの中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア そして イ せっかく ウ よって エ ところが

問三 傍線部①の「日本的な身体観」とは、どのようなものか、本文中の表現を用いて二十五字以内で解答欄に合うように答えなさい。(句読点も一字に数える)

問四 傍線部②「中国の古い伝統は実は日本に最も濃厚に残されている」とあるが、具体的には何に残されているのか。本文中より漢字二字で抜き出して答えなさい。

問五 傍線部③の「意表を衝かれた」の意味を次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 既に考えていた事を言い当てられること。
イ 自分の行動に反感を持たれること。
ウ 伏せていた事柄を口外されること。
エ 考えに入れていない事を指摘されること。

問六 傍線部④「『ボタン』は驚異の工夫」とあるが、ボタンによって洋服が日本に普及した理由は何か。「身体」「同一化」「近代の産業社会」という語を用いて解答欄の書き出しに続く形で、四十五字以内で答えなさい。(句読点も一字に数える)

問七 本文の内容として適切でないものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ヨーロッパのファッションが肉体の曲線を引き立たせるものであるのに対して、日本では体のラインを消す形で衣服がデザインされ、着られてきた。

イ 中国の伝統的な衣服が日本のものと類似しているのは、開放部が多い服装が高温多湿のモンスーン地帯の気候風土にかなっているからである。

ウ 「黒船」が日本に來航すると幕府はアメリカ海軍との接触を禁じたが、巨大な「黒船」に興味を持った大勢の日本人は逮捕者が出て、近くで見物しようとした。

エ 洋服が迅速に行動できて効率のよい「ファストウエア」だとすると、和服はゆっくりとした動きで寛げる「スローウエア」である。

オ 生産効率の良い人工繊維と時間をかけて作られる天然繊維は効果とコストの面で対照的だが、「無印良品」は天然繊維の加工コストを抑えることで世界的に成功した。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

問一 傍線部㉑㉒の漢字はその読みをひらがなで書き、カタカナは漢字で書きなさい。

問二 空欄ⅠⅡⅢに入る最も適切な言葉を次のア～キの中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア がらりと イ がくりと ウ どっかりと エ しっとり
オ ぱったりと カ どんと キ うんと

問三 波線部①「老人の優しい目がふとなつかしくなり」とあるが、この時の少年の思いの説明として最も適切なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 老人の理知的な雰囲気にはのぼのとした尊敬を覚えたこと。
イ 老人の年齢的な衰えにしみじみと哀れさを感じたこと。
ウ 老人のしゃれた身だしなみや話し方に心から感動したこと。
エ 老人の穏やかな雰囲気になりに親しみが湧いてきたこと。
オ 老人に残っている新聞配達員の雰囲気を感じたということ。

問四 波線部②「息をのんで」について、次の各問いに答えなさい。

(1) 「息をのんで」の意味として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 緊張し続けて呼吸もできないこと。
イ ほっと安心して呼吸をゆるめること。
ウ はっと驚いて呼吸を止めること。
エ 落ち着くために深呼吸すること。

(2) 少年に息をのませたものは何か。文中の言葉を使って十五字以内で答えなさい。

問五 波線部③「あの山が見てくれるかぎり、なんでもできるような気がしてきた」とあるが、「あの山」への思いを表すのにここで擬人法が用いられたのはなぜか。その理由を、四十文字以内で説明しなさい。(句読点も一字に数える)

問六 本文の内容として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 老人が「あの山」の見える位置を少年に教えたのは、新聞配達で苦労している姿に昔の自分を思い出し、少年を励ますためであった。
イ 老人が初めて「あの山」を見た時の感動は「温めつづけ」なければ薄れてゆくものであったが、山の姿自体は変わらないものであった。
ウ 老人は自分だけが知っている「あの山」の美しさとその風景の持つ意味とを、心の財産として少年にゆずったのであった。
エ 老人は「あの山」の見える位置を知った後、山のすばらしさをずっと独占したいという、一種の利己主義におちいっていたのであった。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

【第三問題】 次の古文を読んで、下のそれぞれの問いに答えなさい。

これも今は昔、田舎の児こゝろの比叡ひえいの山へ登のぼりたりけるか、桜さくらのめでたく咲

きたりけるに、風のはげしく吹きけるを見て、この児こゝろさめざめと泣きける

を見て、僧そうのやはら寄りて、「③などかうは泣かせ給ふぞ。この花の散るを

を⑦しう覚えさせ給ふか。桜ははかなきものにて、かく④ほどなくうつろひ候

なり。②されども、⑤さのみぞ候」と慰めければ、「桜はなの散ちらんは、⑥あながち

に①いかげせん。苦し⑤からず。我が父の作りたる麦の花の散りて、実まの入いら

びらん思おもふがわびしき」といひて、さく②りあげて、よよと泣きければ、

惜あはしむ
うたてしやな。

【宇治拾遺物語】による

〔注〕 〔児こゝろ〕 Ⅱ 勉学や行儀見習いのために寺に預けられている少年。

〔比叡ひえいの山〕 Ⅱ 比叡山延暦寺のこと。比叡山全体が延暦寺の寺領であり、山中には多くの寺院があった。

問一 傍線部⑦～⑨の読み方を現代かなづかいで書きなさい。

問二 二重傍線部②～④の主語を次のア～オの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア 児
イ 僧
ウ 桜
エ 児の父
オ 筆者

問三 波線部②「僧のやはら寄りて」で「僧」が「児」に対して期待したものは何か、最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 落花に涙するような繊細な感受性の持ち主であること。
イ ただの落花にも泣く不安定な情緒の持ち主であること。
ウ 自分が声をかければ発奮するような勉強家であること。
エ 庶民の生活に根ざした深い愛情の持ち主であること。

問四 波線部③「かうは」のさしている部分を古文から抜き出さない。

問五 波線部①・④・⑤の口語訳として適切なものを次のア～エの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ①「めでたく」 ア 喜ばしい
ウ 祝うべきだ エ やつとのことだ
イ りっぱに
④「ほどなく」 ア 間もなく
ウ 音もなく エ 期待したのに
イ やすやすと
⑤「苦しからず」 ア 見苦しくない
ウ 関心がない エ 悲しんではいけない
イ 何ともない

問六 この話の内容として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 心の優しさが理解されなかった僧の寂しさ。
イ 感動が期待はずれとなった僧のほろ苦い思い。
ウ 親孝行の心が理解できない僧への強い失望。
エ 人間観察の未熟な僧への心からの励まし。

【第四問題】
次の文章に続く形で、①～③の条件に従って意見文を書きなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

課題文は【『コミュニケーションの日本語』(森山 卓郎)による】

- ① 右の文章の時間に関する意見のくい違いに関して、どのように主張するかを具体的に示した後、意見の違う相手と上手くコミュニケーションをとるために大切なことを述べること。
- ② 字数は百字以上百五十字以内とする。(句読点や記号も一字に数える)
- ③ 一マス目から書き始め、段落は設けないこと。